



2023年7月24日

各 位

会社名 大倉工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長執行役員
 神田 進
 (コード番号:4221 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員
 コーポレートセンター担当兼財務・経営管理部長
 田中 祥友
 (TEL 0877-56-1111)

第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表した第2四半期累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

業績予想の修正について

(1) 2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	39,700	2,200	2,350	1,650	138.24
今回修正予想 (B)	39,300	2,400	2,700	2,300	192.65
増減額 (B - A)	△400	200	350	650	
増減率 (%)	△1.0	9.1	14.9	39.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	38,336	2,194	2,541	1,830	153.44

(2) 修正の理由

2023年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、合成樹脂事業において、原料価格の上昇分について製品価格への転嫁が進んだものの、販売数量が減少したことなどから、売上高は前回発表予想を若干下回る見込みです。一方、利益面では新規材料事業において大型液晶パネル向け光学フィルムの在庫調整が一段落し、受注が回復してきたことなどにより営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益4億2千8百万円を特別利益に計上したことにより、前回発表予想を大きく上回る見込みです。

2023年12月期通期の連結業績予想につきましては、国内における物価上昇やウクライナ情勢など地政学的リスクが国内経済に与える影響など不確定要素が多く、現時点での予想数値の修正が困難であるため2023年2月10日に公表した数値を据え置いております。なお、7月3日に従業員持株会を通じた株式付与として特別奨励金2億9千3百万円を第3四半期会計期間の費用として計上しております。業績動向等を精査し、今後、修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上